

# 救急業務におけるICTを活用した 実証研究へ協力することになりました



北十勝事務組合 上士幌消防署では、総務省消防庁が行う『救急業務におけるICTを活用した実証研究』に協力することになりました。

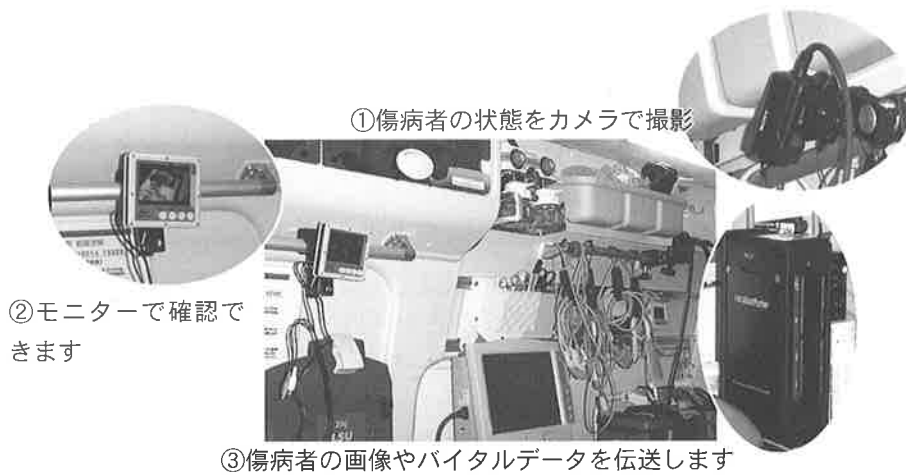
この実証研究は、当署にある救急車に、カメラや画像伝送装置などのICT(※1)機器を車内に設置、この動画と併せてバイタルサインモニター(※2)の情報を医療機関に伝送します。また、傷病者を医療機関へ搬送するまでの間、傷病者の状況をリアルタイムで動画により伝送することができ、これらの有効性について研究するものです。

※1 ICT (Information and Communication(s) Technology) … 情報通信技術

※2 脈拍、血圧、心電図などを表示することが出来る機器

搬送中の傷病者情報をリアルタイムで医療機関へ伝送

救命率の向上、救急業務の質の向上に期待



① 傷病者の状態をカメラで撮影

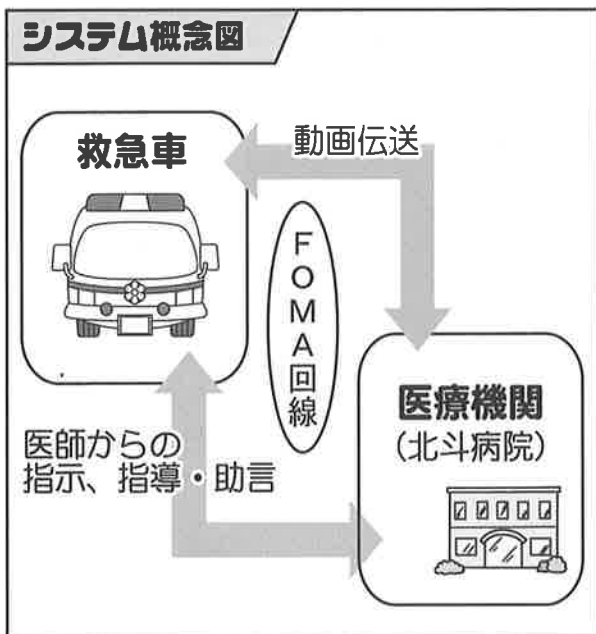
② モニターで確認できます

③ 傷病者の画像やバイタルデータを伝送します

通常の救急活動では、携帯電話などによる音声のみを情報伝達しますが、実証研究中は動画という格段の情報伝達が可能となることから、傷病者の状況をより適切に医師へ伝送することが可能となり、救命率の向上や医療機関への搬送時間の短縮など、救急業務の質の向上が期待されます。

期間は平成23年2月24日から平成24年3月末までの予定で、実証実験中は傷病者自身のほか、事故現場や災害現場など、医師が傷病者の状況をより理解するため必要な情報を動画にて伝送することがあります。また、実証研究対象車で、救急隊員から説明する場合があります。

## システム概念図



※詳しいお問い合わせは、上士幌消防署救急係(☎2-2519)西垣、足立まで